



平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成18年1月24日

上場会社名 日立ビジネスソリューション株式会社

(コード番号：4738 東証第一部)

(URL <http://hitachi-business.com/>)

(TEL (045)-224-6111)(本社事務所)

問い合わせ先 代表者役職：取締役社長

氏名：木村 伊九夫

責任者役職：総務部 専任部長

氏名：宮本 政憲

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

四半期決算における税金費用については、簡便法による税効果会計を適用しております。

最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

(1) 経営成績の進捗状況

(記載金額は百万円未満切捨て表示)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	9,510	0.2	579	30.6	614	26.1	362	147.5
17年3月期第3四半期	9,488	1.1	443	-	487	-	146	-
(参考)17年3月期	13,719	5.7	659	12.1	725	7.4	256	38.7

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第3四半期	25	32	-	-
17年3月期第3四半期	10	23	-	-
(参考)17年3月期	14	43	-	-

(注)1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同期増減率を示す。

2. 前第3四半期の売上高以外の項目につきましては、前第1四半期より開示を行うこととなったため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の日本経済は、原油価格の高騰、米国の金利上昇などの影響が懸念されましたが、企業収益の改善等により、設備投資も増加しており、引き続き景気は回復基調にあります。情報サービス産業においては、顧客の情報化投資に対するコストパフォーマンスや提案内容の差別化要求が、より一層厳しく、差別化した製品・ソリューションを持たない企業は淘汰される非常に厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社の当第3四半期の業績は前年同四半期に比べ、売上高は、利益幅の薄い機器販売を圧縮させたことにより9,510百万円（前年同四半期比0.2%増）と横ばいでしたが、利益につきましては、付加価値の高いサービスソリューション事業の売上が増加したことと、前年同四半期に計上されていた本社移転費用等の特別損失がなくなったことにより、経常利益は614百万円（前年同四半期比26.1%増）、純利益は362百万円（前年同四半期比147.5%増）と増加いたしました。

現時点での業績予想に関しましては、下記の四半期業績の特性のとおり売上が第2・4四半期に集中すること及び価格競争など不確定要因もあるため、平成17年10月26日発表値に変更はありません。

また、平成18年1月13日にプラス株式会社と、プラス情報システム株式会社の全株式譲受につき基本的に合意し、同日付で基本合意書を締結いたしました。

詳細は、平成18年1月13日発表の「「プラス情報システム株式会社」の全株式取得（子会社化）に関する基本合意について」をご参照ください。

<当社の四半期業績の特性について>

当社の事業は、システムの導入・検収が9月（中間期末）及び3月（年度末）に集中する傾向にあり、売上、利益とも第2・4四半期に集中する特性があります。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	14,075	10,963	77.9	766 69
17年3月期第3四半期	13,685	10,769	78.7	753 13
(参考)17年3月期	14,330	10,861	75.8	756 07

[ 財政状態の変動状況に関する定性的情報等 ]

特に記載すべき事象はありません。

添付資料

- ・ (要約) 四半期貸借対照表
- ・ (要約) 四半期損益計算書

以上

[ 参 考 ]

平成18年3月期の業績予想(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

現時点での業績予想は、平成17年10月26日発表値に変更はありません。

【添付資料】

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成17年3月期末
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
1 現金及び預金	323	517	194	37.6	421
2 受取手形	2	0	2	411.2	2
3 売掛金	2,694	2,950	256	8.7	4,010
4 有価証券	1,002	100	901	896.0	805
5 たな卸資産	735	763	28	3.7	116
6 親会社預け金	2,395	1,304	1,091	83.7	1,904
7 その他	592	555	37	6.7	472
8 貸倒引当金	3	4	1	-	5
流動資産合計	7,741	6,187	1,554	25.1	7,727
固定資産					
1 有形固定資産	196	143	52	36.6	196
2 無形固定資産	590	840	250	29.8	686
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	3,615	4,741	1,125	23.7	3,845
(2) 関係会社株式	30	20	10	50.0	30
(3) その他	1,901	1,751	149	8.6	1,844
投資その他の資産 合計	5,547	6,512	965	14.8	5,719
固定資産合計	6,333	7,497	1,163	15.5	6,602
資産合計	14,075	13,685	390	2.9	14,330
(負債の部)					
流動負債					
1 買掛金	598	550	48	8.8	562
2 未払費用	750	741	9	1.2	1,090
3 プログラム補修 引当金	35	20	15	74.4	22
4 その他	484	535	51	9.6	671
流動負債合計	1,869	1,848	21	1.1	2,347
固定負債					
1 退職給付引当金	1,145	968	176	18.3	1,019
2 役員退職慰勞 引当金	97	98	1	1.4	102
固定負債合計	1,242	1,067	175	16.4	1,121
負債合計	3,112	2,915	196	6.7	3,468
(資本の部)					
資本金	3,560	3,560	-	-	3,560
資本剰余金					
資本準備金	4,554	4,554	-	-	4,554
資本剰余金合計	4,554	4,554	-	-	4,554
利益剰余金					
1 利益準備金	110	110	-	-	110
2 任意積立金	1,774	1,696	77	4.6	1,696
3 四半期(当期) 未処分利益	971	827	144	17.4	937
利益剰余金合計	2,856	2,634	221	8.4	2,744
その他有価証券評価 差額金	6	21	27	-	3
自己株式	0	0	-	-	0
資本合計	10,963	10,769	193	1.8	10,861
負債・資本合計	14,075	13,685	390	2.9	14,330

## 2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	9,510	9,488	21	0.2	13,719
売上原価	7,837	8,023	185	2.3	11,561
売上総利益	1,673	1,465	207	14.2	2,157
販売費及び一般管理費	1,093	1,021	72	7.1	1,498
営業利益	579	443	135	30.6	659
営業外収益	39	46	7	15.5	74
営業外費用	4	2	1	43.5	7
経常利益	614	487	127	26.1	725
特別損失	-	238	238	-	303
税引前四半期 (当期)純利益	614	248	365	147.0	422
法人税、住民税 及び事業税	251	203	47	23.6	443
法人税等還付額	-	170	170	-	170
法人税等調整額	1	69	68	98.0	105
四半期(当期) 純利益	362	146	215	147.5	256
前期繰越利益	709	781	71	9.2	781
中間配当額	100	100	-	-	100
四半期(当期) 未処分利益	971	827	144	17.4	937